

部 門	階	諸室名		室の使い方等	特記事項	面積 ㎡	天井高 m以上	建築						電気				機械				備 考
								床 下 地	床 仕 上	天 井 仕 上	壁 仕 上	流台	そ の 他	照度 LX 以上	電話 (内線 含)	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面 台	
共 通 事 項				・アリーナを利用する各競技の国際競技連盟の技術要件を満たす機能や仕様が一定程度備わっていること。詳細は、選定事業者の提案による。 ・アリーナに採光窓を設ける場合は、自然光が公式競技や興行等利用時の妨げとならないよう、遮光設備を設け、自然光を完全遮断すること。 ・フットサルやハンドボール等の競技実施に耐える壁面計画や壁面保護及び設備機器の保護対策を講じること。 ・屋外への音の漏出により、周辺に影響が生じないよう適切な消音対策を講じること。 ・大会時等の選手入場動線を考慮すること。 ・プロスポーツ等興行時において、観客エリアとバックエリアを区分できる計画とすること。 ・観客席は、前後の客席・観客席の位置、高低差を考慮し、競技スペース等へのサイトラインを確保すること。 ・車いす使用者用観客席は、観客席総数の0.5%以上確保すること。 ・火災対策を十分に講じること。(放水銃等を設置すること。)																		
競 技 ・ イ ベ ン ト 機 能	1	分離型 アリーナ	メインアリーナ	・各種スポーツやレクリエーションの練習又はイベント及び興行等で利用	・バスケットボールコート3面配置(コート間の間隔を十分確保) ・フットサル・ハンドボールコート2面配置 ・3分割利用(防球シートまたは防球ネット等の分割用具を設置) ・床の耐荷重は、物品搬入用車両の進入に耐えられる強度 ・残響音を極力抑える ・大型機材の搬入路やテレビ中継のスペースを確保 ・吊り物用バトン、照明用バトンを設置	－	14.0	鋼製 H=700程度 集中荷重に耐える下地・ 躯体とし、捨て板は鋼製 床組メーカー仕様によるもの とすること	t=18 カバ大型 積層フローリング程度 PU3回塗り			－	遮光	1500	○	○	○	○	－	－	－	
			サブアリーナ	・多様な競技に利用 ・大会等では、メインアリーナのサブアリーナとして利用	・バスケットボールコート1面配置 ・フットサル・ハンドボールコート1面配置	－	12.5	鋼製 H=700程度	t=18 カバ大型 積層フローリング程度 PU3回塗り			－	遮光	1500	○	○	○	○	－	－	－	
	1	一体型アリーナ		・各種スポーツやレクリエーションの練習又はイベント及び興行等で利用	・メインアリーナとサブアリーナを一体的に利用する一体型アリーナとする提案も可 ・メインアリーナの水準を確保 ・バスケットボールを4面配置(コート間の間隔を十分確保) ・4分割利用(防球シートまたは防球ネット等の分割用具のうち、1か所以上は一定程度の防音、防衝撃性を備えたシート状または壁状のものを設置)	－	14.0	鋼製 H=700程度 集中荷重に耐える下地・ 躯体とし、捨て板は鋼製 床組メーカー仕様によるもの とすること	t=18 カバ大型 積層フローリング程度 PU3回塗り			－	遮光	1500	○	○	○	○	－	－	－	
		ランニングコース		選手並びに一般利用者のウォームアップ等に利用	・アリーナ上部に走路幅3m以上の周回ランニングコースを設置 ・ランニング、ウォーキング等の利用を区分する走行レーンを設置 ・コーナーは円形とするなど、安全な利用のための配慮 ・走路の支障とならない場所にウォームアップスペースを確保			C	ゴムチップ舗装					300	－		－	○				
	1	更衣室兼選手控室		・更衣室として利用 ・試合、イベント時の選手等の控室	・2室各100㎡以上(各室は2分割できること) ・大会の規模により対応可能な可動壁による分割方式の採用 ・選手個々人が用具を収納できるスポーツ選手用ロッカーを備え、各室分割時にそれぞれ15人分以上設置 ・シャワー室、トイレを併設、または隣接する場所に設置	200 以上	2.6	C	VS	DR	EP			500	○	○	○	○	○	○	○	
	1	器具庫		アリーナで使用する什器備品等を収納	・アリーナ用のすべての器具が余裕をもって収納でき、将来の収納量の増大にも対応できるよう、十分な規模を設ける ・アリーナへの動線に配慮 ・器具庫の出入口は収納する器具の搬出入に支障のない高さとするこ と	600 以上			VT		EP			100		－	－	－	－	－	－	
	1	放送・記録室		アリーナ用の放送、音響、映像用の機材を設置し利用	・アリーナに接する壁面は、ガラス壁等で可視確保 ・大会運営に支障のないよう、適切な位置に配置 ・室内の遮音・吸音、照明に配慮 ・記録室は、大会役員等の控室としても利用	100 程度		OA	KT	DR	EP			500	○	○	○	○				
	1	会議室・審判員控室		・会議室として利用 ・大会時は審判員控室として利用	・アリーナに接する壁面は、ガラス壁等で可視確保 ・大会運営に支障のないよう、適切な位置に配置 ・室内の照明に配慮 ・会議室等の利用を想定し、分割利用に対応する可動壁を採用	60 程度		C	VS	DR	EP			500	○	○	○	○	○	○	○	
		アーチェリー練習場		一般利用時のアーチェリー練習場として利用	・アーチェリー競技エリアは30m×5m以上 ・他の用途との併用にすることも可(安全確保に十分配慮) ・車いす使用の競技者の利用に配慮			C				－	遮光	500		－	－	○	－	－	－	

部 門	階	諸室名		室の使い方等	特記事項	面積 ㎡	天井高 m以上	建築						電気				機械				備 考	
								床 下 地	床 仕 上	天 井 仕 上	壁 仕 上	流台	そ の 他	照度 LX 以上	電話 (内線 含)	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面 台		
観 覧 機 能	－	分 離 型 ア リ ー ナ	メインアリーナ	メインアリーナの観客席として利用	・観客席(1人掛け、背付タイプ)は、1階及び2階以上に常設・仮設を含む合計で3,500席程度 ・1階及び2階以上の座席配分数、固定席・可動席等の選定は事業者提案 ・2階以上の観客席の一部、または全部は可動席を採用		－						－	遮光	500	－	－	－	○	－	－	－	
			サブアリーナ	サブアリーナの観客席として利用	・観客席(1人掛け、背付タイプ)は、100席以上 ・固定席、可動席の選定は事業者提案		－						－	遮光	500	－	－	－	○	－	－	－	
	－	一体型アリーナ		一体型アリーナの観客席として利用	・観客席は、1階及び2階以上に合計で3,500席以上 ・観客席のあり方については、メインアリーナと同様		－						－	遮光	500	－	－	－	○	－	－	－	
健康増進・交流機能	1	トレーニング室、健康・体力相談室		・各種トレーニング器具を設置し、筋力 トレーニングと軽運動等に利用 ・体力測定等をおこない、健康づくりや体力づくり等に関する相談や運動メニューの作成等に利用	・利用者の健康相談や体力測定ができるスペースを備える ・障害者を含むスポーツ初心者から競技者まで幅広い層が利用することを想定し、適切な機器を設置 ・基本トレーニング機器と筋力トレーニング機器を適切に配置 ・ストレッチやヨガ等の運動ができるスペースを設ける	400 程度		鋼製	t=18 カバ大型積層フローリング程度 PU3回塗り	DR			－		300	○	○	○	○				
		多目的室		・利用種目を限定せず、多様な種目(エアロビクス・ダンス・ヨガ等)や人数で利用	・多様なスポーツニーズに対応できる部屋として設置 ・可動間仕切りで分割することにより、様々な人数での利用に対応 ・放送設備を使用することを想定し、間仕切り後の各部屋の防音に配慮 ・壁面1面以上は鏡張り(バレーパーを設置) ・会議室や研修室として利用することを想定 ・必要な机、いすを備え収納庫を設ける ・サウンドテーブルテニスの練習会場として利用することも想定した仕様	200 程度	4.0	鋼製	t=18 カバ大型積層フローリング程度 PU3回塗り	DR	木		遮光	500	○	○	○	○					
	1	キッズコーナー		子どもの体力づくりのために開放されたコーナーとして利用	・来訪する親子が気軽に利用できるよう入口近くのオープンスペースにクッション材等で区切った場所に設置 ・水平方向のみならず、安全性に配慮したうえで垂直方向の遊具を備える	100 程度		C					－		300				○				
		談話室・ラウンジ		誰もが憩うことのできる交流のスペースとして使用	・分散配置も可	100 程度		C						－		300	○	○	○	○	○	○	
管理・サービス機能	1	出入口・エントランスホール		アリーナの利用者や観客等のエントランス空間として利用	・入口には泥落とし等、館内を清潔に保つことができるよう配慮 ・アリーナ付近または1階エントランスには、外靴置場のほか、貴重品用ロッカー、雨・冬靴用の棚等利用者の利便設備を設置	－	－						－		200	○	○	○	○	－	－	－	
		会議室・研修室		・会議や研修に利用 ・大会時は大会運営本部等として利用	・2部屋以上に分割可能な可動間仕切りを設置 ・分割後の各室は講義形式で3人掛机が14本以上、講師用1本以上が配置できる部屋の形状とする ・分割使用の場合、各部屋で放送設備を使用することを想定し、防音に配慮 ・机、いす等が収納できる器具庫を設ける	200 程度		C			DR	EP	－	遮光	500	○	○	○	○				
	1	幼児室		施設利用者の幼児が安心して安全に遊びながら、体を動かす楽しさを体験できる空間として利用	・多くの保護者の利用が見込まれる多目的室またはサブアリーナに接して配置 ・多目的室等に接する壁面の一部をガラス張りにするなど視認性を高め、保護者等が見守り可能なよう配慮 ・低年齢の幼児向けの遊具を備える ・幼児の着替え置き場や着替え場所を設ける ・幼児の転倒による怪我がないように床仕上材に配慮	100 程度		C			DR	木	－		300	○		○	○				
	1	授乳室		・授乳やおむつ替え等に利用	・ベビーベッドや給湯設備など、必要な設備を備える ・複数の親子が利用することを想定、利用者のプライバシーへ配慮	20 程度		C	VS	DR	木	○			300	○		－	○	○	○	－	
		医務室		・施設内でのけが人や急病人等の応急処置 ・大会時の医師控室等として利用	・温水、冷水、氷等がすぐに用意できるよう設備を備える ・けが人等緊急搬出のための動線確保に配慮	50 程度		C	VS	DR	EP	○			500	○	○	○	○	○	○	○	
	1	事務室		・施設全体の運営管理を行う事務室 ・帯広市体育連盟等の事務室・打合せ室等として利用	・円滑な事務、施設の管理に必要な十分な面積を持つ部屋 ・競技団体連絡用ラックを設置	110 程度		OA	KT	DR	EP	○			500	○	○	○	○	○	○	－	
	1	応接室		来賓等の応接室として利用	・8人程度が利用可能な応接室			C	KT	DR	EP	－			500	○	○	○	○	－	－	－	

部 門	階	諸室名	室の使い方等	特記事項	面積 ㎡	天井高 m以上	建築						電気				機械				備 考
							床 下 地	床 仕 上	天 井 仕 上	壁 仕 上	流台	そ の 他	照度 LX 以上	電話 (内線 含)	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面 台	
管 理 ・ サ ー ビ ス 機 能		喫煙室(提案)	観客等の喫煙場所として利用	・喫煙室を設ける際は、非喫煙者の受動喫煙や子どもの教育に配慮し、適切な場所に配置 ・たばこの煙やにおいが喫煙室以外に漏れないように、分煙対策を徹底	－	－	C	耐熱建材			－		300	－	－	－	○	－	－	－	
		関係諸室(提案)	・書庫、物品庫、職員用更衣室や休憩室等、必要な諸室は適宜設置																		
		トイレ		・衛生工学会基準(レベル2以上)による便器数を確保 ・利用者数、観客数等を考慮した配置 ・女性用にはパウダーコーナーを設ける	－	－	C	VS	DR		－		200	－	－	－	－	○	○	○	
		多機能便房	主に高齢者、障害者、オストメイト利用者、乳幼児連等が利用	・高齢者、障害者等が利用しやすく、異性介助の際にも入りやすい場所(一般トイレ入り口付近等)に配置 ・車いす使用者等が円滑に利用できるよう配慮 ・主たる階に各々設置	－	－	C	VS	DR		－		200	－		－	－	○	○		
	－	エレベーター	観客の移動や重量物等の上下階搬送に利用	・車いす使用者の利用に十分配慮 ・急病人やけが人の搬送の際、ストレッチャーの使用を想定した仕様 ・2階以上の階へ搬送する必要がある機材の重量と規模に対応	－	－					－									－	
防 災 機 能		防災備蓄スペース 非常用電源設備室	防災備蓄庫としてアリーナ等を指定避難所として利用する際の資材を保管	・市が用意する防災備品(別紙9 防災備蓄品目録)を保管するスペースを確保 ・非常用電源は、災害時の避難者等がアリーナ、トイレ等を少なくとも72時間利用することを想定 ・屋外の駐車場照明、入口照明を使用することを想定し、それら諸室等の照明、暖房等を賄うのに必要となる容量を備える				VT (防災備蓄スペース)		EP			100				－			－	

<仕上げ凡例>

- ・床下地 C:コンクリートコテ押え、OA:OAフロアーH=100
- ・床仕上げ KT:カーペットタイル(ナイロン)、VS:長尺塩ビシート、VT:ビニルタイル、FL:複合フローリング
- ・天井仕上げ DR:岩綿吸音板、GD-B:化粧施工ボード
- ・壁仕上げ EP:エマルジョンペイント、TP:吹き付けタイル

<共通事項>

- ・上記欄内が空白部は提案とする
- ・窓には全て、カーテン・ブラインド・ロールスクリーンのいずれかを設置。また、その他の欄に「遮光」と記載のある部屋は「遮光タイプ」のものを設置。
- ・必要な床荷重を設定すること。特にアリーナは可動観客席の移動荷重を十分に見込み、床にタイヤ跡が残らないように配慮すること。
- ・移動式バスケットゴールのタイヤ跡が床材に残らないようにタイヤ形状・材質にも配慮すること。
- ・表中の空欄は提案による、「－」は該当なしを表す
- ・表中に特記する仕上は同等以上品とする